

## 新年のご挨拶

### 校長 林 要喜知

保護者の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。早いもので、新年を迎えてから半月が経過致しました。2月中下旬には、いよいよ国家試験を控えております。3学科の最終学年の学生たちは、日々懸命に学習を重ね、試験に向けて準備を進めております。

人生には重要な岐路や挑戦の機会が訪れます。学生たちには、この国家試験を前向きに捉え、自信を持ってチャレンジしてほしいと思います。しかし、過度な緊張は逆効果です。普段通りの生活リズムを保ちつつ、適度にリラックスすることが大切です。

他の学年の学生たちも、学年末試験に向けて日々の授業に真摯に取り組んでいます。全ての学生がこの重要な時期を乗り越え、成長の糧とすることを願っております。

保護者の皆様には、引き続き温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

本年も学生たちの成長と本校の発展に尽力して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 看護学科副校長 柏 静子

皆さま、明けましておめでとうございます。乙巳の新年を迎えられて、いかがお過ごしでしょうか。年明けは、毎年、国家試験、期末試験を迎えた学生の、集中した表情が印象に残ります。神社に初詣で、というより、祈願成就のお参りが多いかと思います。

また、最近では、北都神社のお参りも続き、御利益が増えているのではないのでしょうか。専門学校の学習・実習等は、高校までの内容との違いで戸惑いや、不安を経験します。共に経験している同期・仲間は、支え合い・楽しみも同じく体験し、習得の意味を共感でき、理解し合うことができ、とても大切な存在になります。

そして、保護者様も今までの人生経験の中での、大切な関係、大きな存在価値を高めることになるという事を知っています。人の健康と幸せを支援し、考え・実践する職業を選んで自分の幸福感を実感できる事を積み上げて、今年の干支の蛇の脱皮の繰り返しは、成長を意味し、約束できます。縁起の良い年を過ごせますように。

### 理学療法学科学科長 吉田 幸史

あけましておめでとうございます。

4年生は国家試験、卒業と人生の転換期を迎え苦勞していると思われまふ。我々教員も共に合格卒業に向けて準備してありますので何かありましたらご連絡ご相談ください。

3年生は臨床実習も今年度は終了し、学内教科の修得に全力で取り組んでいる事と思ひます。来年の卒業に向けて気を抜かず頑張つて欲しいと思つてあります。

2年生は初めての臨床実習が近づき緊張と不安で押しつぶされそうになっている学生も

いると思われまので、ご家族のサポートもお願いしたいと考えております。我々教員も臨床実習が所定の課程を習得できますように最大限の援助をしたいと思ひます。

1年生は初めての医療系の学習が思った以上に大変と気づき、基礎学力の向上に励んでいる事と思ひます。何かありましたらご相談いただけると一緒に課題克服できると考えております。

このように各学年課題・目標は違えども最終ゴール（卒業・資格所得）に向けて一步一步着実に歩んで欲しいと思ひます。

#### 作業療法学科学科長 川上 和敏

明けまして おめでとうございます。

2025年は医療・公衆衛生の領域で以前より「2025年問題」と注目されている時代です。団塊の世代が全員後期高齢者（75歳以上）となり、高齢者数が約10年間ピークとなります。医療や福祉、保健に関わる人材供給が最も必要となる一方で少子化の進行も止まりません。当校も毎年新入生募集に苦慮しており、全国の作業療法士養成校における定員充足割れが拡大しています。

しかし、求人状況をみると福祉施設や地域リハビリテーション領域だけでなく急性期病院や回復期リハビリセンターなど、他にも児童デイサービスの領域での求人が増えています。作業療法士の求人はまだまだ供給不足が続いています。当校の学生教育では質の高い保健医療福祉を提供できる人材を育成することを目指していきます。

今後ご理解とご協力を頂けますようお願い申し上げます。

#### 看護学科学科長 鳴海 繭花

新年あけましておめでとうございます。この時期の看護学科は、全学年が忙しくなります。

1年生は、本格的な疾患の学習が進み、より専門的な講義が増えてきます。2月には、初めて患者さんを担当する実習があり、技術練習も必要となってきます。2年生は、1月中旬から、3週間の本格的な実習が開始になります。そして、3年生は2月16日の国家試験に向けて、追い込みの時期になります。全員が体調を崩すことなく、それぞれの課題をクリアできるよう、教員一同取り組んでまいります。今年も、どうぞよろしくお願いいたします。